

令和3年度 滋賀県立農業大学校 学校評価 総合評価

【公表様式】

本年度の重点目標	次代の農業を担う人材および農業の指導的役割を果たし得る人材を養成する。
	・魅力ある学校づくりと学生募集の強化により養成科の定員充足率を100%とする。
	・進路指導の充実を図り、就農と農業関係への就職を合わせて100%を目指す。
	・農業教育を進展させるため、農業系高校と農業大学校との連携を強化する。

大項目	評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
学校経営	・本校は、教育の目標が明確に示され、信頼される学校づくりをおこなっている。	A	A	A
	・本校では、学生・保護者・地域からの期待に応えた特色ある教育活動をおこなっている。	A	A	A
	・本校では、教育活動について適切な説明をおこなっている。	A	A	A
教育活動	・本校では、教育研修計画に基づき計画的な学習指導をおこなっている。	A	A	A
	・本校では、カリキュラムや教育方法が工夫されている。	B	B	A
	・本校では、適切な成績評価がなされている。	A	A	A
	・本校では、食の安全と作業安全、環境への配慮を実践する教育を推進している。	A	A	A
	・本校では、体験学習、農場実習、座学によって、農業の学習を体系的におこなっている。	A	A	A
学生指導	・本校では、学生の規律ある生活習慣の確立と規範意識の向上に向けた指導をおこなっている。	A	A	A
	・本校では、就農・就職指導についてきめ細かい指導がなされている。	B	B	B
	・本校は、学生の健康面や個に応じた支援が充実している。	A	A	A
	・本校では、望ましい仲間づくりや人権の意識を向上させる指導をおこなっている。	B	B	B
学修成果	・本校では、進路決定が円滑におこなえるよう指導をしている。	B	B	A
	・本校では、資格取得率の向上を目指した指導をおこなっている。	B	B	A
	・本校では、社会人や職業人としての生き方や人間形成を育む指導が充実している。	B	B	B
就農教育	・本校では、農業への関心と就農意欲を高めるための教育を積極的に推進している。	A	A	A
	・本校では、就農への具体的な方法を学生個々と相談することにより、就農に向けた支援をおこなっている。	A	A	A
	・本校では、学生の就農に向け関係機関と効果的な連携をおこなっている。	A	A	A
施設管理	・本校では、教育に活用できるよう施設を整備している。	B	B	A
	・本校では、ごみの減量、光熱水費の節減を日常的におこなっている。	C	C	B
	・本校では、社会貢献活動や農業者向けの研修をおこなうなど施設の活用に努めている。	A	A	A
学生募集	・本校では、高校との連携を深めるとともに様々な広報手段を利用した学生募集活動をおこなっている。	A	A	B
	・本校では、高校生等に本校の魅力が伝えられるよう体験入学や説明会等の工夫をおこなっている。	A	A	A
広報活動	・本校では、学校ホームページの内容の充実にも努めている。	B	B	B
	・本校では、教育活動について機を捉えた広報活動をおこなっている。	A	A	A

- (注) ・評価の見方
- 9月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公募
- 10月 中間評価(自己評価)の公募(8月までの教育活動に対する総合評価)ABCDの4段階で示す。
- 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公募(年間の教育活動に対する総合評価)ABCDの4段階で示す。
- ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等により構成された評価委員会が自己評価の結果に基づいて評価することを基本として行う評価。
  - ・ABCDの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度75%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度50%以上75%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度25%以上50%まで)はC、達成できていない場合(達成度25%未満)はDとする。
  - ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等により構成された評価委員会が自己評価の結果に基づいて評価することを基本として行う評価。